



# 高輪だより

令和4年度 6月号  
港区立高輪幼稚園  
園長 柿沼 敦子

## 生きる力の基礎を培う

園長 柿沼 敦子

曇り空が続きましたが、時々現れる日差しの強さや明るい時間の長さにより夏の訪れを感じます。決められた時間に登園するという保護者の皆様の意識が大変高いことを今年度は特に感じています。登園時、子どもたちはそれぞれの表情であいさつをして気持ちを切り替えて、保育室に向かいます。おうちの方々の「行ってらっしゃい」「楽しんでね」の言葉はその姿を後押ししてくださっています。友達と一緒にのタイミングで朝の支度を済ませ、遊びに向かう姿はとても生き生きとしています。ご家庭でのしっかりと生活習慣が幼児の園生活を支えています。

さて、5月は、各学年で様々な栽培活動が展開されました。年長組では、年中時に植えたソラマメの収穫を行い、学級で食べました。瑞々しい“ソラマメグリーン”、新鮮な柔らかさと甘さに「お～いし～い！」と舌鼓を打ちました。大事に育てた味は格別だったことでしょう。ジャガイモの収穫を控え、ポップコーンの種まき、サツマイモの苗植え、イネの田植えも経験しました。年中は、ミニトマト、ナス、ピーマン、オクラ、年少は、つるなしインゲンとミニヒマワリの種を親子で蒔きました。栽培活動では「おいしい〇〇になるように、栄養のある柔らかい土を作ろうね」と、担任がワクワク感を高める中で子どもたちは土づくりを一生懸命に行います。そのおかげで植物が順調に育っていきます。水やりをしながら大切に育て「おおきくなった!」「ちっちゃいピーマンがでてきた!」など気付いたことを言葉にして友達と一緒に喜んでいきます。直接的な体験を通して自然物の生長や不思議さを捉え、科学的な思考も芽生えています。

人間も植物も基礎づくりと日々の積み重ねが大変大事です。先日の就学前講話でも高輪台小学校の細川校長先生から、就学前に生活習慣がしっかり確立していることが、小学校生活の円滑なスタートにつながるというお話がありました。今後も各ご家庭と連携を図りながら生活する力や学ぶ力の基礎を培って参ります。

わくわく ぽかぽか  
みんなえがおの  
たかなわようちえん

3歳児 お母さんと一緒にあいさつ



4歳児 親子一緒の高輪タイム



5歳児 サツマイモ栽培のための土づくりと収穫したソラマメ



たかなわんだふる



## <高輪タイム(親子活動)5月7日(土)>

親子での運動遊びを中心に行いました。各学年とも親子の笑顔あふれる楽しい時間となりました。その感想をお知らせします。「アンパンマン体操を踊っているのがとても可愛かったです」「親子で種まきをして芽が出ることを楽しみにしています」「親子だけでなく保護者同士や子どもたちとの関わりも楽しく、リレーではミニ運動会のように」「リレーでは相手チームのゴールを親子共々拍手で讃え合うなど学級全体が一致団結している様子も感じられ温かな気持ちになりました」「することや先生の言葉を理解することができ子どもの成長が見られ良かった」「園での子どもたちの活動は自宅でのそれとはまた違い、新鮮で楽しかった」「子ども達と一緒に身体を動かし、親も楽しめて園の様子を参観できた」「いつも仕事で園の行事に来られなかった父親が初めて来ることができ、大変楽しく参加できた」「新聞紙だけで色々遊び方があったと知った。最後のレースは、盛り上がりすぎて楽しかった」などたくさんのご感想をいただきました。ありがとうございました。